

JAIA F☆☆☆☆

JAIA 4 VOC基準適合

環境対応弾性接着剤

ダイアボンド DX683A

ダイアボンドDX683Aは、無溶剤形1液湿気硬化型変成シリコン系弾性接着剤です。

§ 特長

1. ノンホルムアルデヒド仕様です。
2. 無溶剤の上フタル酸エステルなどの環境負荷物質となる可塑剤を使用していないため、ほとんど無臭であり、作業環境も良好です。
3. 1液のため計量混合等の作業が必要なく、作業性良好です。
4. 硬化物ゴム弾性体となるため、硬化歪みがなく、外部からの振動衝撃を吸収します。
5. 常温湿気硬化のため、特別な加熱は必要ありません。
6. 耐寒、耐熱に優れ温度変化による接着力の変化がほとんどありません。
7. 無溶剤のため硬化後の肉やせが少なく、充填接着が可能です。
8. オープンタイムをとってコンタクト接着することにより、強力な初期接着力が得られます。

§ 用途

1. 熱膨張係数差の大きい材料の接着
2. 冷熱が繰り返される箇所の接着
3. 凹凸のある材料の接着
4. 振動を受けやすい箇所の接着
5. 有機溶剤におかされやすいプラスチックの接着

☆ 被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

§ 一般性状

主成分		変成シリコン
外観		白色
不揮発分 (%)		100
粘度 (mPa·s)	at20°C	80,000 ~ 300,000
表面硬化時間 (分)	at20°C	20
保証期間 (月)	at25°C	6

§ 硬化後の物性

【at20°C】

硬さ*	A24
破断時伸び** (%)	290
引張強さ** (MPa)	1.5

* : JIS K 6253 タイプ A デュロメータ

** : JIS K 6251 ダンベル状 3 号形試験片

§ 初期接着強さ

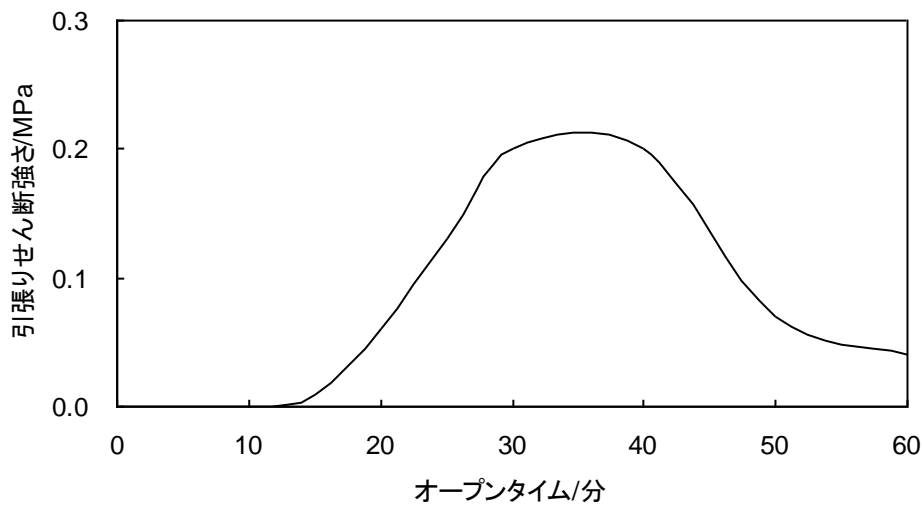


図 1. 硬質塩ビ板相互における貼り合わせ直後の引張りせん断強さのオープンタイム依存性 (JIS K 6850 に準ずる)

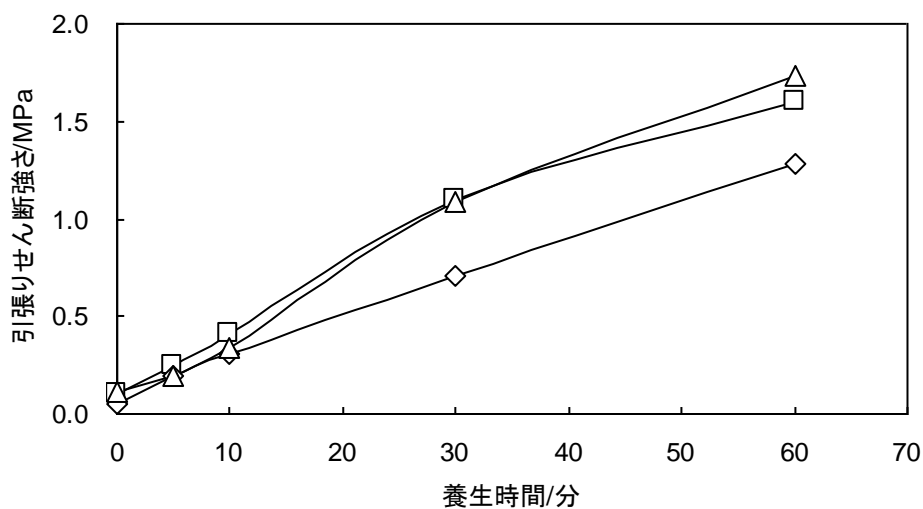


図 2. 鉄板相互(□), 硬質塩ビ板相互(◇), 合板相互(△)における引張りせん断強さの養生時間依存性 (JIS K 6850 に準ずる ; 両面塗布後 20 分間オープンタイムをとり貼り合わせ)

§ 接着性能

引張りせん断強さ

【MPa】

鉄	4.0
アルミニウム	3.3
ステンレス	4.2
合板	3.0
硬質塩ビ	2.7
ABS	2.7
ポリカーボネート	2.7
アクリル	1.9
FRP	2.8

JIS K 6850 に準ずる

常温 7 日間養生後測定

薬品浸せき後ステンレス相互引張りせん断強さ

【MPa】

常態	4.2
水	2.8
酢酸 (10%)	0.0
硫酸 (10%)	4.0
水酸化ナトリウム (10%)	4.7
食塩水 (10%)	3.5
機械油	4.8
MEK	0.5
n-ヘキサン	1.8

JIS K 6850 に準ずる

7 日間浸せき後測定

耐熱寒性

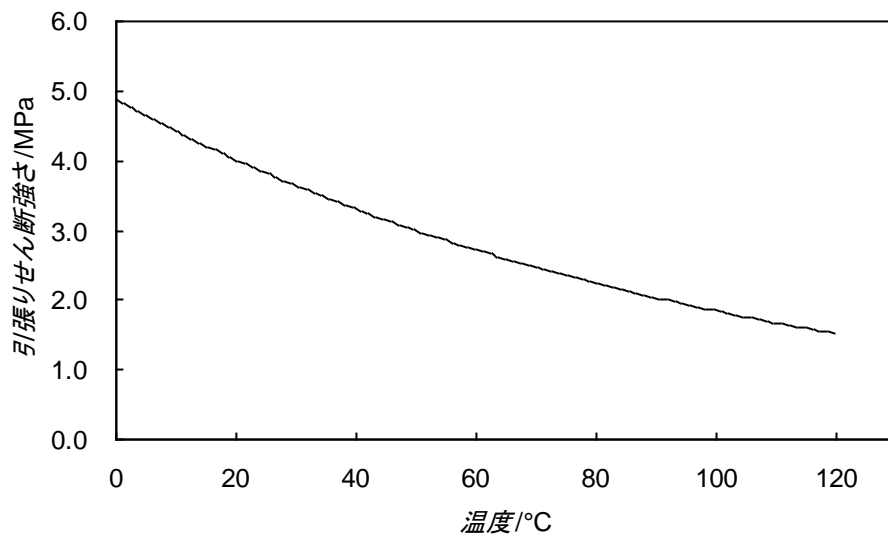


図 3. 引張りせん断強さの温度依存性 (JIS K 6850 に準ずる, ステンレス相互接着)

熱老化性

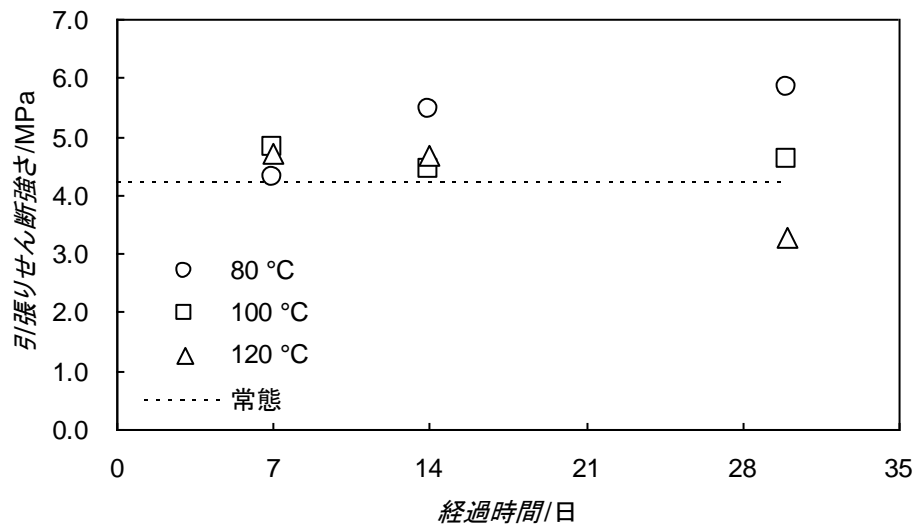


図 4. 引張りせん断強さの熱老化性 (JIS K 6850 に準ずる, ステンレス相互接着)

耐湿熱性

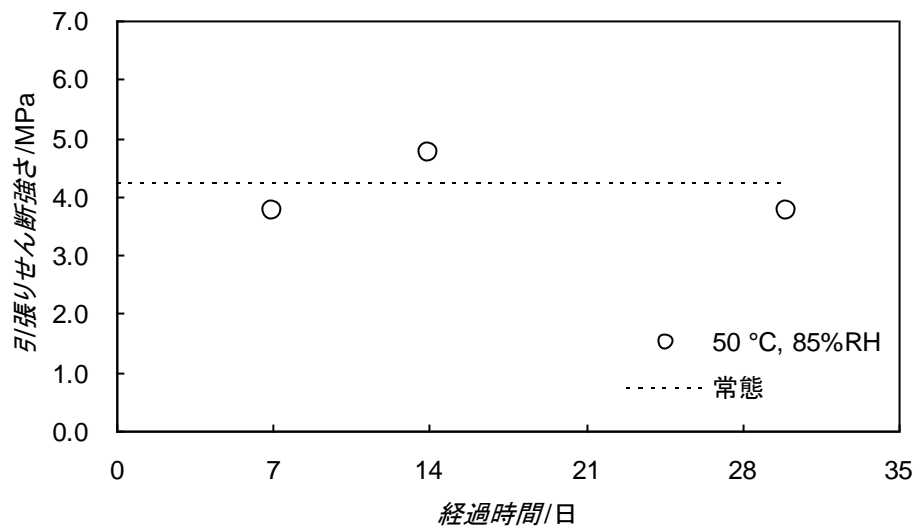


図 5. 引張りせん断強さの耐湿熱 (50 °C, 85%RH) 性 (JIS K 6850 に準ずる, ステンレス相互接着)

§ 使用方法

初期接着性が不要なとき

1. 被着材表面の錆, 油などの汚れを除去し、シンナー等の溶剤で脱脂して下さい。プラスチックや塗面は表面を侵さない溶剤（ノルマルヘキサン, アルコール等）を使用して下さい。
2. カートリッジガンを使用し、ビード状塗布、点状塗布などを行って下さい。必要に応じ、ヘラ、クシ目ゴテ等で塗り伸ばして下さい。
3. 接着剤塗布後、すぐ貼り合わせて下さい。
4. 貼り合わせ後、必要に応じてテープ等で固定して下さい。

初期接着性が必要なとき

1. 被着材表面の錆, 油などの汚れを除去し、シンナー等の溶剤で脱脂し（プラスチックや塗面はノルマルヘキサン, アルコール等の表面を侵さない溶剤を使用して下さい）、被着材表面を清浄にします。
2. 接着剤をヘラ, コテ, 刷毛等で、両面に薄く均一に塗布して下さい（片面当たり 100~200 g/m²）。
3. 塗布後 15~40 分オープンタイムをとり、粘着性（タック）が発現したら貼り合わせて下さい。
4. 貼り合わせ後圧着して下さい。

§ 取り扱い上の注意

- ・ 幼児の手の届かない所に保存し、いたずらしないよう注意して下さい。
- ・ 接着用途以外には使用しないで下さい。
- ・ 直接皮膚に触れないで下さい。触れた場合は、すぐウエス等で拭き取って石けんで洗って下さい。
- ・ あやまって目に入れた場合はすぐ水洗し、医師の診察を受けて下さい。
- ・ 開封後はすみやかに使用して下さい。
- ・ 空容器は、中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- ・ 接着剤を廃棄する場合、産業廃棄物の認可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・ 詳しくは安全データシート（SDS）をご参照下さい。

§ 保管上の注意

- ・ 直射日光、火気、湿気を避け 5～25℃で冷暗所に保管して下さい。
- ・ 保証期間は6ヶ月（開封前）です。（at25℃）
- ・ 消防法における第4類第3石油類に該当します。

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。